専門学校ESPエンタテインメント大阪（学校法人イーエスピー学園）：授業計画

授業科目名	歌唱／演奏／ダンストレーニングⅠ		授業形態 / 必選	実習	選択（必）
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	35回（70単位時間）	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科/音楽アーティスト科Ⅱ部■ ヴォーカル/ネットシンガー/ダンスヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ギター/ベース/ドラム/ネットシンガー/ ネットミュージシャン/ダンスパフォーマンス/ミュージシャン＆スタッフ/アーティスト＆クリエイター/サウンドクリエイター/ DJクラブミュージック				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	・2009年木村充揮を父に持つ木村俊章とロックバンド「BAHARANA」結成。 ・ジョニー吉長、内田勘太郎、寺岡呼人等大御所ミュージシャン・バンドと共演を重ねる。 ・2012年6月バンド活動休止後は、ソロアーティストとして活動中。				

授業概要

【歌唱】発声のメカニズムを理解し、歌唱に必要な発声技術やビブラートなどの技術を習得します。
また、発声に必要な体幹・基本姿勢・腹式呼吸を身につけるトレーニングを行います。
【演奏】基本的な演奏技法をトレーニングによって習得していきます。また、リズムや曲調に対する基礎的な知識もあわせて学習することで、
理論に裏打ちされた演奏を身につけていきます。
【ダンス】音を聴く事により、リズムに合わせて身体を動かすことを学ぶとともに、柔軟性を養い、怪我をしにくい身体作りを目指し、ダンスへの理解を深める

到達目標

【歌唱】チェストヴォイス・ヘッドヴォイス・ミドルヴォイスなど、それぞれの発声を技術として身につけることが出来ます。
喚声点のスムーズな移動や、母音間での相違点を理解し、ここで培った技術を歌唱の中で活かせるようになります。
【演奏】楽曲の構成・アレンジ・リズムなどを分析、それらを意識した演奏ができるようになり、自身の音楽活動へ反映させることが出来ます。
また、コードやスケールについても理解を深めますので、アンサンブル演奏や作曲・アレンジにも非常に役立ちます。
【ダンス】ダンスの用語を知るとともに、基本的なステップが踊れるようになる。また、ダウンとアップの違いを理解してリズムを体現できるようになる

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【歌唱】ヴォイストレーニング導入/スタビライゼーション（体幹トレーニング）/チェストヴォイスの確立 【演奏】クリックの利用法/メジャースケールとマイナースケール/8分音符のアクセントエクササイズ 【ダンス】ストレッチの方法/カウントの取り方/ ステップ1（サイドステップ、クロスステップ）とアップ・ダウンの違いを学ぶ
【前期】 5～8回目	【歌唱】ファルセットとヘッドヴォイスの相違の理解/チェストヴォイスとヘッドヴォイスでの声区移動 【演奏】楽曲構成のアナライズ/トーナリティ（調と調号）/16分音符のタイミングエクササイズ 【ダンス】 ステップ1-2を組み合わせて動けるようになる /ステップ1-2で移動できるようになる
【前期】 9～12回目	【歌唱】ヘッドヴォイスの開発/ヴィヴラートの仕組みとトレーニング 【演奏】シンコペーション/音程とトライアード/アクセントの研究と応用 【ダンス】振付、構成をつなげて踊りきる/ステップ3（ポップコーン）を学ぶ/体重のかけ方で見え方や感覚が変わることを学ぶ
【前期】 13～15回目	【歌唱】ミドルヴォイスの開発/ヴィヴラート練習と各母音の練習/サマーセミナー受講 【演奏】3連符・2拍3連符・16分音符/テトラード/パラディドルとその応用/サマーセミナー受講 【ダンス】課題内容を理解して自分らしく踊ることが出来る/動きに自分の意識を組み込むことが出来る/サマーセミナー受講
【前期】 16～17回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 18～21回目	【歌唱】ヘッドヴォイス～ミドルヴォイスの復習/ビブラートの復習 【演奏】課題曲①/転回形と分数コード/パラディドルによる「3Camps」 【ダンス】遅めと早めのテンポリズムとアイソレーションの組み合わせを体現できる筋力と感覚を向上させる/リズムを一定に刻むことが出来る
【後期】 22～25回目	【歌唱】喚声点（男性E4/F4、女性B♭4/B4)の克服/広い母音（ア・オ）を中心とした練習 【演奏】課題曲①/ダイアトニックコードとその機能/ロールのエチュード 【ダンス】遅めのテンポと速めのテンポ、それぞれの曲に合わせてフロアムーブに入る流れのコツをつかみ踊れるようになる
【後期】 26～29回目	【歌唱】喚声点（男性E4/F4、女性B♭4/B4)の克服～狭い母音（イ・エ・ウ）を中心とした練習/ウインターセミナー受講 【演奏】課題曲②/ダイアトニックスケール/パラディドルの練習/ウインターセミナー受講 【ダンス】ステップルーティンや振付などをベースに流れを止めず、軸を意識して姿勢の安定に取り組む/空間を大きく使い踊ることが出来る/ウインターセミナー受講
【後期】 30～32回目	【歌唱】総合的反復練習及び、課題曲を使用した母音トレーニング 【演奏】課題曲②/ペンタトニック練習/3連音符のタイミングエクササイズ 【ダンス】振付やルーティンを曲に合わせて強弱をつけて表現することで、全体的なパフォーマンスの完成度を高める工夫を学ぶ
【後期】 33～35回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 年度末特別セミナー(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
評価方法	・前後期の実技試験により評価 課題の達成度/課題への取り組み姿勢/平常点などを総合的に評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」（S～C=合格、D～F=不合格）
学生へのメッセージ	技術的に上達するには、基本の奏法をきちんと習得する必要があります。 この授業では、「知識・テクニック・曲の理解」など広い範囲を網羅したトレーニングを実践していきます。 そのため、授業内でしかレッスンを行わないような状況だと、技術の習得が難しくなってきますので、 日頃から各自トレーニングを積む習慣を身に付けましょう。
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

専門学校ESPエンタテインメント大阪（学校法人イーエスピー学園）：授業計画

授業科目名	歌唱/演奏/ダンス基礎Ⅰ		授業形態 / 必選	実習	選択（必）
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	35回（70単位時間）	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科/音楽アーティスト科Ⅱ部■ ヴォーカル/ネットシンガー/ダンスヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ギター/ベース/ドラム/ ネットミュージシャン/ダンスパフォーマンス/ミュージシャン＆スタッフ/アーティスト＆クリエイター/サウンドクリエイター/ DJクラブミュージック				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	・2007年　阪神若手音楽祭グランプリ受賞。2010年　河島英五音楽賞にて最優秀賞獲得。 ・2008年 シングル全国発売。ハドソン系着うたサイト インディーズランキング2位獲得。 ・2009年 GOING KOBE 09 出演。2010年 サマーソニック 2010 in東京 出演。 ・2012年 ユニット活動休止後、ソロ活動開始。				

授業概要

【歌唱】年間6曲の課題曲に取り組みます。各課題曲の曲調・リズム・音程・フレージングなどを分析し、楽曲への理解を深めながら、表現力と
　　パフォーマンス力の向上に繋げていきます。
【演奏】課題曲の演奏を通して、基礎的な技術やアーティキュレーションの体得を目指します。また、エクササイズの反復練習により、音楽を演奏
　　するために必要不可欠なリズム感と音感の向上を目的としています。
【ダンス】手足のポジションや身体の使い方の用語、知識を習得するとともに、JAZZ DANCEに必要な基礎的な要素を強化する。

到達目標

【歌唱】ヴォイストレーニングで習得した発声力でのアプローチにより、表現力の向上につなげることが出来ます。
　　また、課題曲における自身の歌唱を自己分析し、弱点を確認・克服することで歌唱スキルがアップしていきます。
【演奏】スケールやリズムへの理解が深まるため、曲調・リズム・音程・フレージングなどの楽曲の構成に対する理解度がアップします。
　　また、アーティキュレーションやアクセントにより、ダイナミクスのある演奏表現が可能になります。
【ダンス】体の軸、柔軟性、体力、ボディーコントロール、テクニック等を駆使して、様々な表現で感情豊かに踊り、自己表現力を身につける。

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【歌唱】課題曲①　曲調・テンポ・ブレスポイント・メロディの確認/リズム・音程・アーティキュレーションの確認 【演奏】課題曲①　アーティキュレーション技術の習得/Chromatic Exercise Ⅰ/8beatパターン 【ダンス】ウォーミングアップやストレッチ等の動きを覚え、体力、筋力を強化に取り組み、パドブレ等の基本ステップや動きを覚える
【前期】 5～8回目	【歌唱】課題曲①　暗譜と表現力の向上/仕上げ　　課題曲②　曲調・テンポ・ブレスポイント・メロディの確認 【演奏】課題曲②　Major Scale Exercise/Chromatic ExerciseⅡ/8beatコーディネーション 【ダンス】シェネ、ピルエット、バットマン等の動きを習得し、振付を覚えて表現をつけながら踊る
【前期】 9～12回目	【歌唱】課題曲②　リズム・音程・アーティキュレーションの確認/暗譜と表現力の向上/仕上げ 【演奏】課題曲③　Pentatonic Scale Exercise/Minor Scale Exercise/8beatパターン＆コーディネーション 【ダンス】クロスフロアーの動きを習得し、表現をつけながら振付を踊る
【前期】 13～15回目	【歌唱】課題曲③　楽曲分析/問題点の克服/暗譜と表現力の向上/仕上げ/サマーセミナー受講 【演奏】課題曲④　Natural minor Scale Exercise/Triad Exercise/3連音符系のリズム/サマーセミナー受講 【ダンス】覚えた振付をチームに分かれてお互い見せ合いながら改善点を探し改善する/サマーセミナー受講
【前期】 16～17回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 18～21回目	【歌唱】課題曲④　曲調・テンポ・ブレスポイント・メロディの確認/リズム・音程・アーティキュレーションの確認 【演奏】課題曲⑤　ファンクロックのリフ/String Crossing Exercise/シンコペーション 【ダンス】前期の内容に対応できると共に、ピケ、ピケターン等の新しい動きを習得する。
【後期】 22～25回目	【歌唱】課題曲④　暗譜と表現力の向上/仕上げ　　課題曲⑤　曲調・テンポ・ブレスポイント・メロディの確認 【演奏】課題曲⑤　Solo Exercise/Choromatic ExerciseⅢ/シャッフルbeat 【ダンス】シェネ、ピルエット、バットマン等の動きを応用し、覚えた振付に表現をつけながら踊る
【後期】 26～29回目	【歌唱】課題曲⑤　リズム・音程・アーティキュレーションの確認/暗譜と表現力の向上/仕上げ/ウインターセミナー受講 【演奏】課題曲⑥　ミディアムテンポ・ロックのリフ/Diatonic Arpeggio＆Scale/3連音符系のアーティキュレーション/ウインターセミナー受講 【ダンス】作品のテーマや世界観を表現しながら本番をイメージしてリハーサルを行う/ウインターセミナー受講
【後期】 30～32回目	【歌唱】課題曲⑥　楽曲分析/問題点の克服/暗譜と表現力の向上/仕上げ 【演奏】課題曲⑥　Solo Exercise/Fretting Hand Exercise/16分音符のシャッフルbeat 【ダンス】作品発表の為に必要な問題点をチームメイトと解決し、本番をイメージしながら踊ることが出来る
【後期】 33～35回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 年度末特別セミナー(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
評価方法	・前後期の実技試験により評価　課題の達成度・課題への取り組み姿勢・平常点などを総合的に評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」（S～C=合格、D～F=不合格）
学生へのメッセージ	演奏に必要な知識・スキル・音感が総合的に身につくため、演奏レベルの向上が約束されます。 エクササイズはプロユースの磨きがかかった材料となっているので、基礎的な技術はもとより、 楽器をコントロールするための基礎体力と筋力が養われます。 みんなでトレーニングして必要な力を養っていきましょう。
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

専門学校ESPエンタテインメント大阪（学校法人イーエスピー学園）：授業計画

授業科目名	歌唱／演奏／ダンス応用Ⅰ		授業形態 / 必選	実習	選択（必）
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	70回（140単位時間）	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科/音楽アーティスト科Ⅱ部■ ヴォーカル/ダンスヴォーカル/ギターヴォーカル/ギター/ベース/ドラム/ネットミュージシャン/ダンスパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	・2007年　阪神若手音楽祭グランプリ受賞。2010年　河島英五音楽賞にて最優秀賞獲得。 ・2008年 シングル全国発売。ハドソン系着うたサイト インディーズランキング2位獲得。 ・2009年 GOING KOBE 09 出演。2010年 サマーソニック 2010 in東京 出演。 ・2012年 ユニット活動休止後、ソロ活動開始。				

授業概要

【歌唱】自身で選曲し、楽曲理解、分析(曲調、リズム、音程、フレージングなど)、楽曲に対しての自己分析の強化を行います。
【演奏】実際のライブに近い環境で、アンサンブル構造を把握し、主体的にバント演奏に必要な準備やその過程のノウハウを学びます。
【ダンス】様々なスタイル(FREE STYLE、JAZZ、HIP HOPなど)を通してダンスのジャンルへの理解を深める

到達目標

【歌唱】表現力、セルフプロデュース能力を向上し、本番（ステージ上）にてより素晴らしい歌唱力やパフォーマンスを目指す
【演奏】メンバー同士のコミュニケーション能力を向上し、実際のライブなどで大きな成果を発揮できるようになります。
【ダンス】身体の稼動範囲の強化に取り組み、様々なジャンルのダンスが踊れるようになる。

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	【歌唱】オリエンテーション/自由曲①基礎の確立/曲分析(リズム、音程、アーティキュレーションなど) /フルコース歌唱 【演奏】課題曲①　シンプルな8beatを軸にしたUKロックスタイル　各パートのリズム的な噛み合わせの理解 【ダンス】リズムとアイソレーション　身体の可動範囲を知り、ステップの強化につなげる
【前期】 9～16回目	【歌唱】自由曲②基礎の確立/曲分析(リズム、音程、アーティキュレーションなど) /フルコース歌唱 【演奏】課題曲①　シンプルな8beatを軸にしたUKロックスタイル　バンド演奏を行うにあたってのサウンドメイク 【ダンス】ボディバランスを意識し、胸と腰のアイソレーションやステップの強化に取り組み、ルーティンをつなげる
【前期】 17～24回目	【歌唱】自由曲③基礎の確立/曲分析(リズム、音程、アーティキュレーションなど) /フルコース歌唱 【演奏】課題曲②　ダイナミックなサウンドが肝のアイルランドロック　各パートのリズム的な噛み合わせの理解 【ダンス】ボディコントロールを意識し、音を刻んでリーティングをつなげる
【前期】 25～30回目	【歌唱】総合的反復練習/暗譜歌唱/ステージを想定して歌唱/サマーセミナー受講 【演奏】課題曲②　ダイナミックなサウンドが肝のアイルランドロック　自分の楽器で出せる、楽曲にフィットしたサウンドメイク/サマーセミナー受講 【ダンス】様々な角度、強弱、緩急、方向を意識してフリーに踊る/サマーセミナー受講
【前期】 31～34回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 35～42回目	【歌唱】自由曲④基礎の確立/曲分析(リズム、音程、アーティキュレーションなど) /フルコース歌唱 【演奏】課題曲③世界的スタンダードなアメリカンハードロック　各パートのリズム的な噛み合わせの理解 【ダンス】筋力トレーニングの強化　アイソレーションの復習と振付1の実践
【後期】 43～50回目	【歌唱】自由曲⑤基礎の確立/曲分析(リズム、音程、アーティキュレーションなど) /フルコース歌唱 【演奏】課題曲③世界的スタンダードなアメリカンハードロック　自分の楽器で出せる、楽曲にフィットしたサウンドメイク 【ダンス】リズム+アイソレーション＆ステップ　振付2～3を実践
【後期】 51～58回目	【歌唱】自由曲⑥基礎の確立/曲分析(リズム、音程、アーティキュレーションなど) /フルコース歌唱/ウインターセミナー受講 【演奏】課題曲④　力強さを感じさせるアメリカンロック　演奏内容によって生じる楽曲の疾走感を理解/ウインターセミナー受講 【ダンス】フロアワーク＆ボディコントロール　振付4～7実践/ウインターセミナー受講
【後期】 59～64回目	【歌唱】総合的反復練習/暗譜歌唱/ステージを想定して歌唱 【演奏】課題曲④　力強さを感じさせるアメリカンロック　"音価"に対する理解と、演奏内での再現度の向上 【ダンス】コミュニケーション＆総合パフォーマンス　振付8～10を実践
【後期】 65～70回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 年度末特別セミナー(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
評価方法	・前後期の実技試験により評価　課題の達成度/課題への取り組み姿勢/小テスト/平常点などを総合的に評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」（S～C=合格、D～F=不合格）
学生へのメッセージ	自信で具体的な目標を定めて、それを達成する授業です。 様々な技術と演奏アプローチを学ぶことで、多様なスタイルに対応する応用力を身につけることが出来ます。
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

専門学校ESPエンタテインメント大阪（学校法人イーエスピー学園）：授業計画

授業科目名	リズムトレーニング Ⅰ		授業形態 / 必選	実習	選択（必）
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	37回（74単位時間）	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ギターヴォーカル/ギター/ベース/ドラム/				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	・1975年「ボビー＆リトル・マギー」でレコード・デビュー。「NASA」「Shogun」「Chicken Shack」などにドラマーとして参加。 ・1998年よりリズム＆ドラム・マガジン誌にて「ドラマー立志風雲録」連載開始。 ・「60sドラム定番大百科」など、リットーミュージックより教則本も多数出版。				

授業概要

音楽の三大要素である「リズム」を理解するとともに、小節や拍の概念、リズムに関する記号や音符の意味を学んでいきます。
【歌唱】 リズムを基調とした楽曲を用い、ロック・R&B・シャッフル・3/4拍子など、幅広いビートに対応できる技術を習得します。
【演奏】 多くのリズムパターンを練習していくことで、様々な曲への対応力もつき、演奏のクオリティ向上につながります。
【ダンス】 ステップやテクニックを学び楽曲に合わせて様々な振付を身体で表現する

到達目標

リズムに対する理解が深まるため、リズムに関する読譜や記譜ができるようになります。
【歌唱】バッキングを意識した歌唱法が身に付くため、他パートと合わせたアンサンブル等において表現力が向上します。
【演奏】多様なリズムのトレーニングを繰り返し行うので、様々なテンポ・リズムの楽曲に対応できる基礎力を養うことが出来ます。
【ダンス】与えられた振りを正確に把握し、身体で表現することが出来る。ステップやテクニックを習得し、曲にあわせ自由に表現することが出来る。

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【歌唱】8beat ミドルテンポ＝BPM90 読譜/シンコペーションやアウフタクトなどの理解と表現 【演奏】8beat スロウ～ミドル リズムスタイルの理解/8beat系リズムパターンのエクササイズ 【ダンス】簡単なレベルチェックを通して身体を動かし、アイソレーション、リズムワークの基礎を学び、基礎体力をつける。
【前期】 5～8回目	【歌唱】8beat アップテンポ＝BPM150 読譜/原曲BPMでの歌唱/リズムを意識したフルコーラス歌唱 【演奏】8beat ミドル～アップ シンコペーションや裏拍を含む8beat系リズムパターンのバリエーション 【ダンス】アイソレーション、リズムワークのバリエーションを増やし、ステップ、強弱、複雑なリズム変化などに対応した振付を踊ることができる。
【前期】 9～12回目	【歌唱】16beat＝BPM70 読譜/16分音符のシンコペーションやアウフタクトなどの理解と表現 【演奏】16beat ベーシックな16beat系リズムパターンのエクササイズ/サブディビジョンの説明 【ダンス】ボディーウェーブ、ハンドウェーブを習得し、重さ・軽さ・スピードの変化を意識して振りにメリハリをつけることができる
【前期】 13～15回目	【歌唱】16beat＝BPM70 読譜/原曲BPMでの歌唱/リズムを意識したフルコーラス歌唱/サマーセミナー受講 【演奏】16beat シンコペーションや裏拍を含む16beat系リズムパターンのバリエーション/サマーセミナー受講 【ダンス】ハンドウェーブ、ボディウェーブを、自由に組み合わせて踊ることが出来る/サマーセミナー受講
【前期】 16～17回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 18～21回目	【歌唱】3/4拍子＝BPM90 読譜/原曲BPMでの歌唱/リズムを意識したフルコーラス歌唱 【演奏】3連系リズムの基礎知識とリズムパターンのエクササイズ 【ダンス】アイソレーション リズムワーク ステップバリエーション/キャリーアップを使った振付を踊ることが出来る
【後期】 22～25回目	【歌唱】6/8拍子 読譜/原曲BPMでの歌唱/リズムを意識したフルコーラス歌唱 【演奏】6/8拍子のリズムパターンのエクササイズ 【ダンス】リズムワーク応用 バックスライド・サイドスライドを含む振付を踊ることが出来る
【後期】 26～29回目	【歌唱】8beatシャッフル 読譜/原曲BPMでの歌唱/リズムを意識したフルコーラス歌唱/ウインターセミナー受講 【演奏】12/8拍子のリズムパターンのエクササイズ/ウインターセミナー受講 【ダンス】アイソレーション応用 モネストリーを含んだ振り付け/ボディーウェーブ・ヒットのバリエーション/ウインターセミナー受講
【後期】 30～32回目	【歌唱】16beatシャッフル 読譜/原曲BPMでの歌唱/リズムを意識したフルコーラス歌唱 【演奏】12/8拍子の楽曲を使ったシンコペーション・3連・裏拍・ハネ等のバリエーション 【ダンス】アイソレーション、リズムワーク、テクニックを統合し、様々なジャンルの動きを取り入れた振付や即興で踊ることが出来る
【後期】 33～35回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 年度末特別セミナー（セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う）
評価方法	・前後期の実技試験により評価 課題の達成度/課題への取り組み姿勢/平常点などを総合的に評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」（S～C=合格、D～F=不合格）
学生へのメッセージ	多様なリズムパターンを反復練習で身につけながら、リズムに対する音楽的知識の幅を広げます。 このトレーニングを積むことで、自身のスキル向上だけでなく、他の楽器に対する理解も深まるので、 アンサンブル時のパフォーマンス向上にも繋がります。
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

専門学校ESPエンタテインメント大阪（学校法人イーエスピー学園）：授業計画

授業科目名	DTM／DAW実習Ⅰ		授業形態 / 必選	実習	選択（必）
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	35回（70単位時間）	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科/音楽アーティスト科Ⅱ部■ ギター/ベース/ドラム/ダンスパフォーマンス/ミュージシャン＆スタッフ/アーティスト＆クリエイター/ サウンドクリエイター/DJ クラブミュージック				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	・1989年自身のバンド「テラローザ」でキングレコードよりデビュー。6枚のアルバムを発表 ・セッションキーボーディストとして、多数のライブやレコーディングに参加。 ・PCゲーム「イース3」「Bloody Chronicle」等のサウンドトラック作曲				

授業概要

・基本的な PC 操作を学びつつ、、DAW を理解し、基本的なMIDI入力に加え、Audio素材の扱いに慣簡単なMix作業までを行う。
・入力作業を通して、音符の持つ意味や実際に鳴る楽器の音色を理解し、基礎的な編曲の成り立ちについて学んでいきます。

到達目標

・ドラムの聴き取りを練習を繰り返すことで、リズムについての理解を深め、簡単なドラム譜の読み書きが出来るようになります。
・入力作業を通して、音符意味・楽器の音色・楽曲のイメージを養い、5パート以上のバンドスコアを自力でMIDI入力できるようになります。
・オーディオの書き出しを行い、自身でデモ音源等を制作する能力が身に付きます。

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	PCの扱い方/Studio Oneファイルの作成/Pro Toolsファイルの作成/BPMの理解とリズムの聴き取り
【前期】 5～8回目	基本操作の確認 /MIDIの基礎知識 / 「Let It Be」の入力#1～#3 / 各種設定及びツールの使い方など
【前期】 9～12回目	「Let It Be」の入力#4～#7 / ドラムやベース、ギターなど、各パートの入力とデータの編集方法など
【前期】 13～15回目	「Let It Be」の入力#7～#9 / 表現力をアップするアーティキュレーションの調整など サマーセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【前期】 16～17回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 18～21回目	MIDIレコーディング&フレーズ研究 / Drumの打ち込み 8beat・フィルイン / Bassの打ち込み
【後期】 22～25回目	MIDIレコーディング&フレーズ研究 / Keyboardの打ち込み / 16beatのパターン
【後期】 26～29回目	MIDIレコーディング&フレーズ研究 / 3連譜のパターン シャッフル・6/8拍子のパターン ウインターセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【後期】 30～32回目	MIDIレコーディング&フレーズ研究 / 2beatと4beatのパターン
【後期】 33～35回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 年度末特別セミナー(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
評価方法	・前後期の実技試験にて聴音20点/DTM実技70点の配分で評価 ・出席率や授業の受講態度などの平常点を10%で評価。 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」（S～C=合格、D～F=不合格）
学生へのメッセージ	音楽をやっていく上で、DTMの知識と技術は必ず役立つスキルです。 基本的な操作方法を身につけることで、音源制作や作曲など自身の音楽活動に反映できるようになります。
使用教科書	前後期の最初の授業にてテキストプリントの冊子を配布

専門学校ESPエンタテインメント大阪（学校法人イーエスピー学園）：授業計画

授業科目名	分野別基礎実技Ⅰ		授業形態 / 必選	実習	選択（必）
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	35回（70単位時間）	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科/音楽アーティスト科Ⅱ部■ ヴォーカル/ネットシンガー/ダンスヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ギター/ベース/ドラム/ ネットミュージシャン/ダンスパフォーマンス/ミュージシャン＆スタッフ/アーティスト＆クリエイター/サウンドクリエイター/ DJクラブミュージック				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	・2003年に「twenty4-7」を結成し、2007年にavexからメジャーデビュー。 ・シングル・アルバム通算15枚をリリース。 ・2012年9年間の活動を経て「twenty4-7」解散後、現在はソロとして活動中。				

授業概要

【歌唱】歌唱の基礎からビブラートなどの高度なテクニックまで学びます。また、調号についての理解を深めるため、
楽曲のアナライズを行う力を養うことが出来るとともに、作詞作曲では自分の表現をより明確に具現化できるようになります。
【演奏】課題となる楽曲選びを通じて、学生自身が自らの音楽性・方向性にあったレッスンを組み立てていきます。
楽曲コピーの進め方を身に付けるとともに、楽曲の構造・アレンジなどを理解し、ジャンルに適合した演奏方法を身につけます。
【ダンス】芝居、歌、ダンスを取りいれ、音楽を使ったミュージカル作品を演じることにより総合芸術を理解する。

到達目標

【歌唱】キー･スケール・コードを理解することで、メロディーの構成要素が明確になり、ピッチが安定した歌唱を実現出来ます。
また、習得した技術を駆使することで、難易度の高いフレーズを歌うことが可能になります。
【演奏】様々な楽曲をトランスクライブ（＝耳コピー）することにより、楽曲の構成やアレンジを分析できるようになるので、
作曲やバンドアレンジ、アドリブプレイでの音楽性を広げることが出来ます。
【ダンス】リズム感と舞台に必要な身体能力を身につけ、舞台表現の向上につなげる。3つのジャンルを比べながら平均的に学ぶことが出来る。

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【歌唱】key=C① 調号・スケール・コードの確認/装飾音の確認とエクササイズ/譜面を読み取っての歌唱を実践 【演奏】譜面に関する基礎的な知識/スコアリーディング 【ダンス】エクササイズを行い身体能力、柔軟性をチェックし、レベルチェック課題の台本を用いてレベルを確認する1～2
【前期】 5～8回目	【歌唱】key=C② 調号・スケール・コードの確認/装飾音の確認とエクササイズ/譜面を読み取っての歌唱を実践 【演奏】自由曲① トランスクライブ/楽曲・フレーズのアナライズ/パーツごとのエクササイズ/音源とあわせた演奏の実践 【ダンス】課題「Me&MyGirl」を使い、姿勢や歩き方、発生の改善に取り組み、台本読みから立ち稽古を通して完成させる
【前期】 9～12回目	【歌唱】key=C③ 調号・スケール・コードの確認/装飾音の確認とエクササイズ/譜面を読み取っての歌唱を実践 【演奏】自由曲② トランスクライブ/楽曲・フレーズのアナライズ/パーツごとのエクササイズ/音源とあわせた演奏の実践 【ダンス】課題「Mamma Mia!」の台本読みから立ち稽古を通し完成させる
【前期】 13～15回目	【歌唱】key=F① 調号・スケール・コードの確認/装飾音の確認とエクササイズ/譜面を読み取っての歌唱を実践/サマーセミナー受講 【演奏】自由曲③ トランスクライブ/楽曲・フレーズのアナライズ/パーツごとのエクササイズ/音源とあわせた演奏の実践/サマーセミナー受講 【ダンス】課題「A Corus Line」の本読み・振付を覚える/サマーセミナー受講
【前期】 16～17回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 18～21回目	【歌唱】key=F② 調号・スケール・コードの確認/装飾音の確認とエクササイズ/譜面を読み取っての歌唱を実践 【演奏】自由曲④ トランスクライブ/楽曲・フレーズのアナライズ/パーツごとのエクササイズ/音源とあわせた演奏の実践 【ダンス】課題「Beauty and the Beast」を用いて、クロスウォークとダンスの基礎を身に付ける
【後期】 22～25回目	【歌唱】key=G 調号・スケール・コードの確認/装飾音の確認とエクササイズ/譜面を読み取っての歌唱を実践 【演奏】自由曲⑤ トランスクライブ/楽曲・フレーズのアナライズ/パーツごとのエクササイズ/音源とあわせた演奏の実践 【ダンス】課題「Aladdin」の 台本読みと演劇公演「遠い約束」エンディングの前後半部分の振りを付ける
【後期】 26～29回目	【歌唱】key=D 調号・スケール・コードの確認/装飾音の確認とエクササイズ/譜面を読み取っての歌唱を実践/ウインターセミナー受講 【演奏】自由曲⑥ トランスクライブ/楽曲・フレーズのアナライズ/パーツごとのエクササイズ/音源とあわせた演奏の実践/ウインターセミナー受講 【ダンス】課題「Aladdin」立ち稽古と演劇公演「遠い約束」の発表会実施/ウインターセミナー受講
【後期】 30～32回目	【歌唱】key=A 調号・スケール・コードの確認/装飾音の確認とエクササイズ/譜面を読み取っての歌唱を実践 【演奏】自由曲⑦ トランスクライブ/楽曲・フレーズのアナライズ/パーツごとのエクササイズ/音源とあわせた演奏の実践 【ダンス】課題「Aladdin」M1～M6の歌稽古と確認
【後期】 33～35回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 年度末特別セミナー（セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う）
評価方法	・前後期の実技試験により評価 課題の達成度/課題への取り組み姿勢/平常点などを総合的に評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」（S～C=合格、D～F=不合格）
学生へのメッセージ	自分で選んだ課題（楽曲）に取り組み、定型カリキュラムではフォローしきれない各個人の音楽性の違いや、 各々のプレイスタイルに応えるための授業です。 楽曲コピー（トランスクライブ）の方法や、難しいパートのポイントを見きわめる方法、解決するための練習の 組み立て方なども身に付けていきましょう。
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

専門学校ESPエンタテインメント大阪（学校法人イーエスピー学園）：授業計画

授業科目名	分野別応用実技Ⅰ		授業形態 / 必選	実習	選択（必）
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	70回（140単位時間）	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科/音楽アーティスト科Ⅱ部■ ネットシンガー/ダンスヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ネットミュージシャン/アーティスト＆クリエイター/サウンドクリエイター/DJクラブミュージック				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	・「宝bunebune」のメンバーとしてライブ、ミュージカル、TV、CMなどで活躍。 ・3ピースバンド「フォレストマウス」を率いて、AXIA'03にてグランプリ獲得。 ・サポートギタリストとしても数々のライブやレコーディングに参加。				

授業概要

【歌唱】J-R&BやJ-POPの課題曲を使用し、曲を捉える基本的な力や伴奏を聴いて音を正確に捉える力を養います。
また、洋楽にも取り組み、言葉のリズム感の違いなどを理解し、総合的なヴォーカル技術の向上を目指します。
【演奏】バンドセッションを通じて、楽曲ごとのアンサンブル構造を把握し、考えてプレイするスタイルを身につけていきます。
楽曲に応じて、バンド内における各楽器のサウンドメイクも行う実践的な授業となります。
【ダンス】リズム、ボディバランス、表現力を習得し、FREE STYLEを通してダンスのジャンルへの理解を深める

到達目標

【歌唱】リズム・メロディ・ハーモニーについて、高いレベルでの技術を習得することが出来ます。
また、ステージングやパフォーマンスについても学びますので、ライブなどでの動きや表現力が格段にアップします。
【演奏】楽曲のパターンによるリズムへの理解力の向上や、楽曲に応じたサウンドメイキングが出来るようになります。
ヴォーカルに対する音量のコントロールやアレンジにもつながり、実際のライブなどで大きな成果を発揮できるようになります。
【ダンス】身体の稼動範囲を知り、範囲拡大と強化に取り組み、基本的なダンスが踊れるようになるとともに振付に組み込むことが出来る。

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	【歌唱】1曲目「8beat」 現状のレベルチェック 譜面と歌詞のリンク/曲の構造、リズムの把握/表現力の向上 【演奏】課題曲① シンプルな8beatを軸にしたUKロックスタイル 各パートのリズム的な噛み合わせの理解 【ダンス】リズムとアイソレーション 身体の可動範囲を知り、ステップの強化につなげる
【前期】 9～16回目	【歌唱】2曲目「ハネた16beat」 リズムを重視 譜面と歌詞のリンク/曲の構造、リズムの把握/表現力の向上 【演奏】課題曲① シンプルな8beatを軸にしたUKロックスタイル バンド演奏を行うにあたってのサウンドメイク 【ダンス】ボディバランスを意識し、胸と腰のアイソレーションやステップの強化に取り組み、ルーティンをつなげる
【前期】 17～24回目	【歌唱】ステージングやパフォーマンス表現/1曲目と2曲目の仕上げ//小テストの実施 【演奏】課題曲② ダイナミックなサウンドが肝のアイルランドロック 各パートのリズム的な噛み合わせの理解 【ダンス】ボディコントロールを意識し、音を刻んでリーティングをつなげる
【前期】 25～30回目	【歌唱】3曲目「洋楽①」 バラード タンギング 譜面と歌詞のリンク/曲の構造、リズムの把握/表現力の向上/サマーセミナー受講 【演奏】課題曲② ダイナミックなサウンドが肝のアイルランドロック 自分の楽器で出せる、楽曲にフィットしたサウンドメイク/サマーセミナー受講 【ダンス】様々な角度、強弱、緩急、方向を意識してフリーに踊る/サマーセミナー受講
【前期】 31～34回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 35～42回目	【歌唱】4曲目「洋楽②」 ミディアムシンコペーション 譜面と歌詞のリンク/曲の構造、リズムの把握/表現力の向上 【演奏】課題曲③世界的スタンダードなアメリカンハードロック 各パートのリズム的な噛み合わせの理解 【ダンス】筋力トレーニングの強化 アイソレーションの復習と振付1の実践
【後期】 43～50回目	【歌唱】ステージングやパフォーマンス表現/3曲目と4曲目の仕上げ/小テストの実施 【演奏】課題曲③世界的スタンダードなアメリカンハードロック 自分の楽器で出せる、楽曲にフィットしたサウンドメイク 【ダンス】リズム+アイソレーション＆ステップ 振付2～3を実践
【後期】 51～58回目	【歌唱】5曲目「メロディ重視」 ピッチの確立 譜面と歌詞のリンク/曲の構造、リズムの把握/表現力の向上/ウインターセミナー受講 【演奏】課題曲④ 力強さを感じさせるアメリカンロック 演奏内容によって生じる楽曲の疾走感を理解/ウインターセミナー受講 【ダンス】フロアワーク＆ボディコントロール 振付4～7実践/ウインターセミナー受講
【後期】 59～64回目	【歌唱】6曲目「J-R&B アップテンポ」 言葉のリズム 譜面と歌詞のリンク/曲の構造、リズムの把握/表現力の向上 【演奏】課題曲④ 力強さを感じさせるアメリカンロック ″音価″に対する理解と、演奏内での再現度の向上 【ダンス】コミュニケーション＆総合パフォーマンス 振付8～10を実践
【後期】 65～70回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 年度末特別セミナー(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
評価方法	・前後期の実技試験により評価 課題の達成度/課題への取り組み姿勢/小テスト/平常点などを総合的に評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」（S～C=合格、D～F=不合格）
学生へのメッセージ	各課題曲において、具体的な目標を定めて、それを達成するスタイルの授業です。 様々な技術と演奏アプローチを学ぶことで、多様なスタイルに対応する応用力を身につけることが出来ます。
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

専門学校ESPエンタテインメント大阪（学校法人イーエスピー学園）：授業計画

授業科目名	アンサンブル基礎Ⅰ		授業形態 / 必選	実習	選択（必）
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	35回（70単位時間）	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科/音楽アーティスト科Ⅱ部■ ヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ギター/ベース/ドラム/ミュージシャン＆スタッフ/アーティスト＆クリエイター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	・Bob James、Ken Navarroなど海外アーティストと数多く共演。 ・大西ユカリ、植村花菜、akikoなどのメジャーアーティストのサポートメンバーとしてツアーやレコーディングに参加。				

授業概要

「アンサンブル」の授業の課題曲を事前に練習する授業となります。
課題曲はヴォーカルに合わせて男子曲と女子曲の2曲あり、楽器演奏のコースは2曲とも演奏できるように練習します。
演奏上のポイントや具体的な奏法など技術的な指導をすると共に、楽曲分析により曲の理解を深めます。
この授業を通して、楽曲の聴き方や音楽の楽しみ方を学び、人と人とが奏でる音楽「アンサンブル」に繋げていきます。

到達目標

楽曲の構造・アレンジなどを理解し、今後の自身の音楽制作に反映させることが出来る。
スタジオでのバンド演奏の前に、楽曲を予習しておく重要性を認識し、十分に練習を積んだ上でアンサンブルに臨む姿勢を身につける。

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【男子曲①女子曲①】曲の仕込み　曲の構成/譜読み/サイズ確認/各パーツ練習～フルコーラス練習/暗譜
【前期】 5～8回目	【男子曲②女子曲②】曲の仕込み　曲の構成/譜読み/サイズ確認/各パーツ練習～フルコーラス練習/暗譜
【前期】 9～12回目	【男子曲③女子曲③】曲の仕込み　曲の構成/譜読み/サイズ確認/各パーツ練習～フルコーラス練習/暗譜
【前期】 13～15回目	【男子曲④女子曲④】曲の仕込み　曲の構成/譜読み/サイズ確認/各パーツ練習～フルコーラス練習/暗譜 サマーセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【前期】 16～17回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 18～21回目	【男子曲⑤女子曲⑤】曲の仕込み　曲の構成/譜読み/サイズ確認/各パーツ練習～フルコーラス練習/暗譜
【後期】 22～25回目	【男子曲⑥女子曲⑥】曲の仕込み　曲の構成/譜読み/サイズ確認/各パーツ練習～フルコーラス練習/暗譜
【後期】 26～29回目	【男子曲⑦女子曲⑦】曲の仕込み　曲の構成/譜読み/サイズ確認/各パーツ練習～フルコーラス練習/暗譜 ウインターセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【後期】 30～32回目	【男子曲⑧女子曲⑧】曲の仕込み　曲の構成/譜読み/サイズ確認/各パーツ練習～フルコーラス練習/暗譜
【後期】 33～35回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 年度末特別セミナー(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
評価方法	・前後期の実技試験により評価　課題の達成度/課題への取り組み姿勢/平常点などを総合的に評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」（S～C=合格、D～F=不合格）
学生へのメッセージ	アンサンブルはカラオケと違い、一緒に演奏するメンバー全員で楽曲をつくりあげます。 自身のプレイだけでなく、音量バランスや他の人の演奏に意識を向けられるよう、余裕をもった 演奏ができるように繰り返し練習しましょう。
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

専門学校ESPエンタテインメント大阪（学校法人イーエスピー学園）：授業計画

授業科目名	アンサンブル応用Ⅰ		授業形態 / 必選	演習	選択（必）
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	70回（140単位時間）	年間単位数	8単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科/音楽アーティスト科Ⅱ部■ ヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ギター/ベース/ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	・アニメソング等で活躍する串田アキラ、宮内タカユキのサポートギタリストを務める。 ・「David Lee Roth BAND」の「Toshi Hiketa」氏の教則DVDのレコーディング、ライブシューティングに参加。 ・現在自己のバンド「selfish suqare」で活動中。 ・楽器メーカーのモニター・デモンストレーター、アーティストサポート、映画音楽、セッション等多方面で活躍。				

授業概要

バンド形態での授業を通して、人とのコミュニケーション、音楽を作り上げていく過程の全てを学んでいきます。
課題曲をライブ演奏に近い状態でアンサンブルするので、技術面のみならず音作りや各パートのバランス調整の実践など、
多様な面にアプローチで総合的な音楽力を養います。
他パートの学生との共同作業としてすすめるので、音楽仲間との交流・バンドメンバー探しの機会としても活用することができます。

到達目標

他の楽器を聴きながら演奏するため、より実践的なパフォーマンス能力を身につける。
アンサンブル授業での演奏から楽曲の構造・アレンジなどを体感し、今後の自身の音楽制作へ反映ができる。

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	アンサンブル授業ガイダンス//マイク、ミキサー等、バンドスタジオ内の機材の説明/各パート毎のオリエンテーション 【男子曲①女子曲①】音量バランス/各パートとのシンクロ/ダイナミクスのつけ方/ライヴ形式発表
【前期】 9～16回目	【男子曲②女子曲②】音量バランス調整/各パートとのシンクロ/ダイナミクスのつけ方/ライヴ形式発表
【前期】 17～24回目	【男子曲③女子曲③】音量バランス調整/各パートとのシンクロ/ダイナミクスのつけ方/ライヴ形式発表
【前期】 25～30回目	【男子曲④女子曲④】音量バランス調整/各パートのシンクロ/ダイナミクスのつけ方/ライヴ形式発表 サマーセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【前期】 31～34回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 35～42回目	【男子曲⑤女子曲⑤】音量バランス調整/各パートのシンクロ/ダイナミクスのつけ方/ライヴ形式発表
【後期】 43～50回目	【男子曲⑥女子曲⑥】音量バランス調整/各パートのシンクロ/ダイナミクスのつけ方/ライヴ形式発表
【後期】 51～58回目	【男子曲⑦女子曲⑦】音量バランス調整/各パートのシンクロ/ダイナミクスのつけ方/ライヴ形式発表 ウインターセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【後期】 59～64回目	【男子曲⑧女子曲⑧】音量バランス調整/各パートのシンクロ/ダイナミクスのつけ方/ライヴ形式発表
【後期】 65～70回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 年度末特別セミナー(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
評価方法	・前後期の実技試験により評価　課題の達成度/課題への取り組み姿勢/平常点などを総合的に評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」（S～C=合格、D～F=不合格）
学生へのメッセージ	アンサンブル授業は各コースからなる合同授業です。 人とのコミュニケーションが重要になっていくので、人に対しての伝え方、相手が何を思い演奏しているか、 プレイヤーとしてのスキルだけではなく、人としてのスキルも高めていきましょう。 このアンサンブルを通し、より深い音楽の楽しさを体験し、レベルの高いアーティストを目指しましょう。
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

専門学校ESPエンタテインメント大阪（学校法人イーエスピー学園）：授業計画

授業科目名	サブ楽器A		授業形態 / 必選	実習	選択（必）
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	35回（70単位時間）	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ネットシンガー/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ベース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	・サポートキーボードとして、田原俊彦、郷ひろみ、荻野目洋子、浅香唯等々のツアーに参加。 ・楽曲提供、CF音楽、テレビアニメ、ゲーム等の主題歌、BGM制作。				

授業概要

・ダイアトニックコードを中心に、楽曲で主に使用されるコードやそれらのヴォイシングを学び、音楽の理解を深めていく

到達目標

・コードの理解（メジャー・マイナーの違い、7th・M7、m7、マイナーセブン・フラットファイブ、ディミニッシュセブン、6th、aug、sus4他）
・KEYやヴォイシングの理解。
・拍とリズムに対する理解

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【課題曲①】INTRO～Aメロのバッキング練習/Bメロのバッキング練習/Aメロ～Bメロの通し練習/Cメロの練習/ワンコーラス通し練習
【前期】 5～8回目	【課題曲①】弾語りの練習（ワンコーラス）/【課題曲②】INTRO～Aメロのバッキング練習/Bメロのバッキング練習/Aメロ～Bメロの通し練習
【前期】 9～12回目	【課題曲②】Cメロの練習/ワンコーラス通し練習/弾語りの練習/【課題曲③】INTRO～Aメロのバッキング練習
【前期】 13～15回目	【課題曲③】Bメロのバッキング練習/Aメロ～Bメロの通し練習/Cメロの練習/ワンコーラス通し練習/弾語りの練習（ワンコーラス） サマーセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【前期】 16～17回目	試験対策授業～【前期試験】 【課題曲④】INTRO～Aメロのバッキング練習
【後期】 18～21回目	【課題曲④】Bメロのバッキング練習/Aメロ～Bメロの通し練習/Cメロの練習/ワンコーラス通し練習/弾語りの練習（ワンコーラス）
【後期】 22～25回目	【課題曲⑤】INTRO～Aメロのバッキング練習/Bメロのバッキング練習/Aメロ～Bメロの通し練習/Cメロの練習
【後期】 26～29回目	【課題曲⑤】ワンコーラス通し練習/弾語りの練習（ワンコーラス）/【課題曲⑥】INTRO～Aメロのバッキング練習
【後期】 30～32回目	【課題曲⑥】Bメロのバッキング練習/Aメロ～Bメロの通し練習/Cメロの練習/ワンコーラス通し練習/弾語りの練習（ワンコーラス）/ ウインターセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【後期】 33～35回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 年度末特別セミナー(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
評価方法	・前後期の実技試験により評価　課題の達成度/課題への取り組み姿勢/平常点などを総合的に評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」（S～C=合格、D～F=不合格
学生へのメッセージ	人の一生の中で20歳前後は最も耳の感度が良い時期と言われています。この時期にKeyboardを学ぶことで、耳の能力が最大限に培われ、結果として歌唱力の向上へと直結します。加えて音楽に対する理解度が高まりばかりか、作曲のツールとして皆さんを支えてくれる便利な楽器です。音楽業界で生きていく以上、コードを理解しないわけにはいきません。また卒業生の中には、音楽スクールにて「ヴォイストレーナー」として成功する方も多数おられます。2年間で学んだKeyboardの技術は、トレーナーとして食べていく上でも、極めて重要と言えるでしょう。
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

専門学校ESPエンタテインメント大阪（学校法人イーエスピー学園）：授業計画

授業科目名	サブ楽器B		授業形態 / 必選	実習	選択（必）
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	35回（70単位時間）	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 シンガーソングライター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	・2007年　阪神若手音楽祭グランプリ受賞。2010年　河島英五音楽賞にて最優秀賞獲得。 ・2008年 シングル全国発売。ハドソン系着うたサイト インディーズランキング2位獲得。 ・2009年 GOING KOBE 09 出演。2010年 サマーソニック 2010 in東京 出演。 ・2012年 ユニット活動休止後、ソロ活動開始。				

授業概要

・J-POPの名曲を通して、アコースティックギターの基礎技術を学びます
・統一したkeyの進行、ヴォーカルテクニックと連動して進行していくことで、楽曲のアナライズや弾き語りの習得を目指します。

到達目標

・コードストローク・アルペジオ等基礎伴奏能力を習得する。・ギター演奏とともに弾き語りができるようになる
・ダイアトニックコード、セカンダリードミナント、マイナースケール系コードを理解する

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【課題曲①】 基本的な読譜方法(反復記号等)/調号の読み方/Cメジャーダイアトニックコードの押さえ方/バレーコード（F)の習得①/バレーコード（F)の習得②/セカンダリードミナントの理解/歌唱＆コードストローク
【前期】 5～8回目	【課題曲①】弾き語りの完成 【課題曲②】譜読み/曲の仕込み/歌唱＆コードストローク①②
【前期】 9～12回目	【課題曲②】弾き語りの完成 【課題曲③】譜読み/曲の仕込み/歌唱＆コードストローク・アルペジオ①②
【前期】 13～15回目	【課題曲③】歌唱＆コードストローク・アルペジオ③/弾き語りの完成 サマーセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【前期】 16～17回目	試験対策授業～【前期試験】 【課題曲④】譜読み
【後期】 18～21回目	【課題曲④】曲の仕込み/歌唱＆コードストローク・アルペジオ①②/弾き語りの完成 【課題曲⑤】譜読み/曲の仕込み
【後期】 22～25回目	【課題曲⑤】歌唱＆コードストローク・アルペジオ①②/弾き語りの完成 【課題曲⑥】譜読み/曲の仕込み
【後期】 26～29回目	【課題曲⑥】歌唱＆コードストローク・アルペジオ①②/弾き語りの完成
【後期】 30～32回目	【課題曲⑦】譜読み/曲の仕込み/歌唱＆コードストローク・アルペジオ①②/弾き語りの完成 ウインターセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【後期】 33～35回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 年度末特別セミナー(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
評価方法	・前後期の実技試験により評価　課題の達成度/課題への取り組み姿勢/平常点などを総合的に評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」（S～C=合格、D～F=不合格
学生へのメッセージ	近年のJ-POPシーンでは、アコースティックギター弾き語りスタイルのアーティストの台頭が目覚ましいです。オリジナル曲をアーティスト自身が生演奏でパフォーマンスすることで、歌の世界観をリスナーにダイレクトに届けることが可能となります。アコースティックギターを習得することで、音楽は一気に身近な存在になり、音感や感性の向上に繋がります。 またなにより手軽で場所を選ばない「作曲ツール」として、皆さんの音楽活動を支える楽器であると言えましょう。
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

専門学校ESPエンタテインメント大阪（学校法人イーエスピー学園）：授業計画

授業科目名	楽曲制作基礎Ⅰ		授業形態 / 必選	実習	選択（必）
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	35回（70単位時間）	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ネットミュージシャン				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	・サポートキーボードとして、田原俊彦、郷ひろみ、荻野目洋子、浅香唯等々のツアーに参加。 ・楽曲提供、CF音楽、テレビアニメ、ゲーム等の主題歌、BGM制作。				

授業概要

ヴォイス理論／コード理論／作詞作曲/アーティスト研究などを通してオリジナルの楽曲を制作していく授業です。
知っているコードを繋げて作る感覚的な作曲を脱し、理論に裏づけされた作曲技法を習得していきます。
また、基礎的なアレンジを学び、総合的な楽曲制作の能力を身につけるとともに、オリジナリティの確立を目指します。

到達目標

コードの知識を身につけることで、ベーシックな楽曲制作の仕組みが理解できるようになります。
また、それらの知識を自身の楽曲制作に反映させることで、楽曲の質が飛躍的に向上します。
4リズムのアレンジを習得し、楽曲の表現の幅を広げることができます。

授業計画・内容	
【前期] 1～4回目	ヴォイス理論①～④(腹式呼吸/喉の健康/喉頭/母音と舌の関係性) コード理論①～④メジャーとマイナー/M7/7th/m7(♭5) トライアル①～④
【前期] 5～8回目	ヴォイス理論⑤～⑧(共鳴腔/ミドルヴォイス・ヘッドヴォイス/声区融合/TA/CT) コード理論⑤～⑧(dim7/Cメジャーとダイアトニックコード/コードの機能/アウフタクト) トライアル⑤ /作詞作曲 課題①
【前期] 9～12回目	ヴォイス理論⑨～⑩(ヴィブラート/母音の調整) コード理論⑤～⑫(6th/aug/add9/セカンダリードミナント) 作詞作曲 課題①
【前期] 13～15回目	作詞作曲 課題①発表 サマーセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【前期] 16～17回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期] 18～21回目	コード理論⑬～⑯(Gメジャースケール・ダイアトニックコード/マイナースケール/m7-5の使い方/dim7の使い方) 作詞作曲 課題②
【後期] 22～25回目	コード理論⑰(Dメジャースケール・ダイアトニックコード) Gメジャースケールの裏技①② 作詞作曲 課題③
【後期] 26～29回目	コード理論⑱～⑳(作詞の方法/クリシェ/POP PUNK進行/カノン進行) Gメジャースケールの裏技①② 作詞作曲 課題③
【後期] 30～32回目	コード理論㉑～㉓(王道進行/小室進行、他) Dメジャースケールの裏技①② 作詞作曲 課題③ ウインターセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【後期] 33～35回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 年度末特別セミナー(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
評価方法	・前後期の実技試験により評価　課題の達成度/課題への取り組み姿勢/平常点などを総合的に評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格
学生へのメッセージ	コード理論の知識を得ることは、アーティストとして必須の条件となります。そしてヴォイス理論を得ることにより、卒業後も自らの声のコンディションを整え、また引き続き成長することが出来、将来的にヴォイストレーナー（指導者）として、活躍することも可能となります。 また「オリジナル作品」を制作する力を獲得することは、メジャーデビューする上で大きなファクターとなりえます。
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

専門学校ESPエンタテインメント大阪（学校法人イーエスピー学園）：授業計画

授業科目名	楽曲制作応用Ⅰ		授業形態 / 必選	実習	選択（必）
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	70回（140単位時間）	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 シンガーソングライター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	・サポートキーボードとして、田原俊彦、郷ひろみ、荻野目洋子、浅香唯等々のツアーに参加。 ・楽曲提供、CF音楽、テレビアニメ、ゲーム等の主題歌、BGM制作。				

授業概要

音楽業界が最も期待されているのは、歌って作れる才能、つまりシンガーソングライターです。
1年次前期はシンガーソングライターにとって必要不可欠な基礎知識を学んでいきます。
1年次後期はシンガーソングライターにとって必要不可欠な応用力を学んでいきます。

到達目標

基礎と応用を学び、オリジナル楽曲を制作する。

授業計画・内容	
【前期] 1～8回目	オリジナル制作前期概要/ダイアトニック・コード（三和音/四和音）の理解/主要和音、コードの機能/メロディーの基本パターン3種/コードワーク1～3
【前期] 9～16回目	コードワーク4～6/作詞（テーマや主人公、場所の設定等）/楽曲の構成(コードワーク)/アボイドノート参考資料 オリジナル制作＃1(Key自由)
【前期] 17～24回目	楽曲の構成(コードワーク)/アボイドノート参考資料/使用頻度の高いKEYと各ダイアトニックコード オリジナル制作＃1(Key自由)
【前期] 25～30回目	オリジナル制作＃1(Key自由)発表 サマーセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【前期] 31～34回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期] 35～42回目	Gメジャースケール/コードワーク7～10 オリジナル制作＃2
【後期] 43～50回目	コードワーク11～12/マイナースケール/Dメジャースケールについて オリジナル制作＃2
【後期] 51～58回目	オリジナル制作＃3
【後期] 59～64回目	オリジナル制作＃3 ウインターセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【後期] 65～70回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 年度末特別セミナー(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
評価方法	・前後期の実技試験により評価　課題の達成度/課題への取り組み姿勢/平常点などを総合的に評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」（S～C=合格、D～F=不合格
学生へのメッセージ	2小節や4小節といった短いフレーズであれば、比較的容易に作れますが、1コーラスをまとめ上げるとなると、いきなり難易度が高くなります。 楽曲全体の構成力を学ぶとこで、この大きなハードルを越えることができ、大きく成長することが出来ます。また、メロディーの始め方3種を意識的にコントロールすることで、スランプから脱却することも可能です。前期の半年間は長い音楽人生の中でも、最も根源的・基礎的は内容であり、極めて重要な授業内容と言えます。
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

専門学校ESPエンタテインメント大阪（学校法人イーエスピー学園）：授業計画（令和6年度申請分）令和6年6月7日提出

授業科目名	PC実習Ⅰ		授業形態 / 必選	実習	選択(必)
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	35回（70単位時間）	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科■音楽アーティスト科 アーティストスタッフ/PA/照明/照明＆PA/イベント制作/ローディー/レコーディング＆MA/PA＆レコーディング/ダンスパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	大学にて研究員として学生に対するICT、CADの指導をはじめ、その後特許事務所のパテントエンジニアを経て現在のICT、CAD教育業務に携わる。その他、企業、教育施設において情報セキュリティの指導にも携わる。 実務経験15年。				

授業概要

・ビジネス文書や、その他各資料作成を行う為のPC技術・知識を身につける。

到達目標

・PC操作に不慣れが学生に対して、利便性に長ける事を伝え、苦手意識を無くしていく。
・PC系検定「Word / Excel 」検定合格レベルの基礎知識と実践力を養う。
・Word/Excel/PPTソフトの使用方法を理解し、社会人として必要なPC技術を身につける。
・Word/Excel/PPTソフトを使用し、ビジネス文書等の作成ができる技術を身につける。

授業計画・内容	
【前期] 1～4回目	Word #1~#4 文字入力/ビジネス文書作成
【前期] 5～8回目	Word #5~#7 表作成・編集/グラフィック作成
【前期] 9～12回目	Excel #1~#4 基本操作/データ入力/表計算機能
【前期] 13～15回目	Excel #5~#6 絶対参照・書式設定/練習問題・ページ設定 サマーセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【前期] 16～17回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期] 18～21回目	Excel #7~#9 グラフ/関数/練習問題
【後期] 22～25回目	Excel #10~#12 関数/データベース（並び替え・抽出・自動集計・テーブル機能等）
【後期] 26～29回目	Excel #13 データベース（作業グループ・3D集計・スパークライン等） PPT #1 画面構成 ウインターセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【後期] 30～32回目	PPT #2~#4 スライド編集/オブジェクトの挿入/アニメーション効果と切り替え/スライドショーの実行 / 練習問題
【後期] 33～35回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 年度末特別セミナー(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
評価方法	学期末に実施する試験により「平常点 /基礎課題 /実技 /資料作成 」の到達度を評価する。 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」（S～C=合格、D～F=不合格）
学生へのメッセージ	word・excel・PPTなどの、ソフト使用方法を学び、効率の良いビジネス文書や書類の作成を学びます PCの基礎知識から学んでいきますのでPCに触れたことがないという方、安心してください。しっかり基礎からサポートします。 一緒に楽しく勉強していきましょう
使用教科書	Word・Excel・PowerPointのパソコンソフト / 授業内容のオリジナル説明プリントを各授業ごとに配布

専門学校ESPエンタテインメント大阪（学校法人イーエスピー学園）：授業計画

授業科目名	ベーシックREC実習Ⅰ		授業形態 / 必選	演習	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	35回（70単位時間）	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ミュージシャン&スタッフコース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	実務経験：17年 ライブハウスのPAを務めつつ、ブライダル現場・式典PA・レディオクレイジーのステージ・FREEDOM名古屋のモニターPAなど様々なイベントを担当。また、レコーディングスタジオでの業務をこなす。 ここ数年は現地楽器・舞台監督も担当し、マルチに活動している。				

授業概要

・セッティングにおける必須スキルである、ケーブルやマイクスタンドといった機材の扱い方を学ぶ。
・レコーディング現場における、録音する側、録音される側双方の流れを理解し、音楽作品を完成させるための知識/技術を習得する。

到達目標

・レコーディングスタジオ内の全ての機材や備品の名称、役割を理解し適切に使用出来る。
・ミュージシャンとしての自身の活動にも役立てるべく、基礎知識とスキルを身につける。

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	各部屋の役割/電源の入れ方/コントロールルーム視聴/8の字巻き習得/録音時の基本的な信号の流れを理解する/Pro Toolsで録音準備/ 回線チェック/マイク・マイクスタンドの扱い方/マイクの基礎知識習得
【前期】 5～8回目	ProToolsのオペレート(録音・ロケート・パンチイン/パンチアウト・プレイリスト新規作成/複製・リバーブ)/Vo録音のセッティング/ヴォーカル録音①②
【前期】 9～12回目	Drums録音①(ドラム録音のセッティング・トークバックマイクの必要性・Pro Toolsトラックのグルーピング)/単独送り/Drums録音②/Drums録音③
【前期】 13～15回目	ここまでの内容の復習 サマーセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【前期】 16～17回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 18～21回目	アンプ・タイライン/DIの役割/ドラム・ベース録音①②
【後期】 22～25回目	バンドレコーディング見学①②/ドラム・ベース録音③④/ギター録音①(ギターダビングのセッティングと録音方法/トラックの複製を習得)
【後期】 26～29回目	ギター録音②/ヴォ―カル録音 ウインターセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【後期】 30～32回目	こまでのレコーディング総復習/ミックスについて
【後期】 33～35回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 年度末特別セミナー(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
評価方法	・前後期の実技試験にて聴音20点/DTM実技70点の配分で評価 ・出席率や授業の受講態度などの平常点を10%で評価。 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」（S～C=合格、D～F=不合格）
学生へのメッセージ	この授業では、機材の詳細な使い方よりも、セッティングや録音方法の基礎を習得することに重点を置いています。 ミュージシャンとしての活動を目標としている人は、自身が録音される側になる際にもスムーズに動けるよう、本授業を通じて録音作業の流れを理解しましょう。また、スタジオの規模を問わず、ひいては自宅録音(宅録)であっても、信号の流れの基本は変わりません。 自宅やリハーサルスタジオでも、セルフで楽器や歌の録音ができるようになることも目指しましょう。
使用教科書	使用プリントをまとめた冊子を最初の授業で配布

専門学校ESPエンタテインメント大阪（学校法人イーエスピー学園）：授業計画

授業科目名	ベーシックPA実習Ⅰ		授業形態 / 必選	演習	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	35回（70単位時間）	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ミュージシャン&スタッフコース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	実務経験：17年 ライブハウスのPAを務めつつ、ブライダル現場・式典PA・レディオクレイジーのステージ・FREEDOM名古屋のモニターPAなど様々なイベントを担当。また、レコーディングスタジオでの業務をこなす。 ここ数年は現地楽器・舞台監督も担当し、マルチに活動している。				

授業概要

・PAに関する機器や楽器のセッティング、及び扱い方を習得する

到達目標

・音響機器や楽器の知識と基本的なセッティングのノウハウを習得
・ライブハウスやクラブ、リハーサルスタジオで働くための基礎的な技術を身につける

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	各楽器・音響機材の説明/ケーブルついての知識と取り扱い/8の字巻き/マイクスタンドの扱い/ドラムセッティング#1～#2
【前期】 5～8回目	PAシステム回線説明/PA機材説明/簡易PAシステムセッティング#1～#2
【前期】 9～12回目	PAコンソール説明/Ba.Ampのセッティング/インストアライブPAシステムの仕込み・回線チェック#1～#2
【前期】 13～15回目	テスターの使い方/交流&直流電源の測り方/アースの除去方法 サマーセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【前期】 16～17回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 18～21回目	PAインサートとMatrixの説明・接続方法①～③ / バンドセットのPA仕込み①
【後期】 22～25回目	バンドセットのPA仕込み②～③ / Key2段弾き語りセットのPA仕込み①～②
【後期】 26～29回目	ステージ転換の練習#1～#2/DJ機材のセッティング・音出し① ウインターセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【後期】 30～32回目	DJ機材のセッティング・音出し② /パーカッションマイキング
【後期】 33～35回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 年度末特別セミナー(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
評価方法	・前後期の実技試験にて聴音20点/DTM実技70点の配分で評価 ・出席率や授業の受講態度などの平常点を10%で評価。 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」（S～C=合格、D～F=不合格）
学生へのメッセージ	ここでは音響スタッフとして必要な知識と技術を学ぶことになります。スタッフ志望ではない人たちにとっても、音響機器に関連する知識や技術は無駄になりません。音響の仕事に携わる人たちの動きを知ることは、現場での様々な場面で非常に役立ちますので頑張って覚えてくださいね。
使用教科書	

専門学校ESPエンタテインメント大阪（学校法人イーエスピー学園）：授業計画

授業科目名	ProTools実習Ⅰ		授業形態 / 必選	実習	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	35回（70単位時間）	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科/音楽アーティスト科Ⅱ部/音楽芸能スタッフ科/音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ ミュージシャン＆スタッフ/アーティスト＆クリエイター/サウンドクリエイター/DJクラブミュージック/PA/MA&レコーディング/レコーディング&PA				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	・1989年自身のバンド「テラローザ」でキングレコードよりデビュー。6枚のアルバムを発表 ・セッションキーボーディストとして、多数のライブやレコーディングに参加。 ・PCゲーム「イース3」「Bloody Chronicle」等のサウンドトラック作曲				

授業概要

・Macを使用した Pro Tools における編集、操作技術を習得し、録音現場で実用できるようになる。

到達目標

・Mac PC、Pro Toolsの基本的な構造や使い方の理解
・波形編集やそれに伴うショートカットキーの暗記
・ショートカットキーを使用した波形編集技術の習得

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	MacintoshとPro Tools/トラック/ウィンドウ/ループ素材を組み合わせて楽曲を作る/カウンターとロケート
【前期】 5～8回目	タイム管理とコピー&ペースト/曲の長さを編集する/ディスクにバウンス/オーディオインポート/尺編集のトレーニング/4回目から6回目までの復習/ゴミ取り
【前期】 9～12回目	プレイリスト/OKテイクの作成/Auxとセンド/リターン/ここまでの総復習
【前期】 13～15回目	7回目から12回目までの復習/総復習 サマーセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【前期】 16～17回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 18～21回目	Pro Toolsのファイル構成とオーディオインターフェース/定位とEQ/コンプレッサー/リバーブ
【後期】 22～25回目	ディレイ/18回目から22回目までの復習/編集実習1曲目①②
【後期】 26～29回目	編集実習1曲目③/編集実習2曲目①②③ ウインターセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【後期】 30～32回目	18回目から29回目までの復習
【後期】 33～35回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 年度末特別セミナー(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
評価方法	・前後期の実技試験にて聴音20点/DTM実技70点の配分で評価 ・出席率や授業の受講態度などの平常点を10%で評価。 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」（S～C=合格、D～F=不合格）
学生へのメッセージ	音楽をやっていく上で、DTMの知識と技術は必ず役立つスキルです。 基本的な操作方法を身につけることで、音源制作や作曲など自身の音楽活動に反映できるようになります。
使用教科書	前後期の最初の授業にてテキストプリントの冊子を配布

専門学校ESPエンタテインメント大阪（学校法人イーエスピー学園）：授業計画

授業科目名	DJ実習		授業形態 / 必選	実習	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	35回（70単位時間）	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 DJクラブミュージック/ダンスパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	2000年前後から大阪を拠点にDJ活動開始。 多数のクラブ・イベントでのプレイやDJコンペティションへの参加も多数。				

授業概要

・クラブDJの基本を理解する。機材(CDJ set)・DJソフトウェア(Rekordbox DJ)の操作方法を学ぶ。
・Ableton Liveの基本操作を学び、DJ MIXの録音・編集を学ぶ。

到達目標

・基本的なMIX Playの習得

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	DJの種類・役割説明 / 機材とソフトウェアのセッティング・音出し・操作説明 / カットイン説明・実践/MIX Play説明・実践/カットインとMIX/DJM内蔵Beat Effect習得
【前期】 5～8回目	様々なジャンルでのDJ play#1～#4
【前期】 9～12回目	楽曲10曲セレクトしMIX練習#1～#2/Ableton Liveに録音/編集
【前期】 13～15回目	テスト前総復習 サマーセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【前期】 16～17回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 18～21回目	USB DJ play#1～#3/CDJ MIX Technic①
【後期】 22～25回目	CDJ MIX Technic②③/ターンテーブル#1
【後期】 26～29回目	ターンテーブル#2～#4/Rekordbox DJ/Scratch基本 ウインターセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【後期】 30～32回目	テスト前総復習
【後期】 33～35回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 年度末特別セミナー(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
評価方法	・前後期の実技試験にて聴音20点/DTM実技70点の配分で評価 ・出席率や授業の受講態度などの平常点を10%で評価。 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」（S～C=合格、D～F=不合格）
学生へのメッセージ	基本的なDJとしてのスキルを習得します。この1年でご自身の好きな音楽でDJすることが出来ます。
使用教科書	前後期の最初の授業にてテキストプリントの冊子を配布